




風のかたち

No. 175 安田小学校長 新田 哲之

2021年 3月 15日



情熱の子ども

今年は大変から始まりました。手洗い、マスク、大声は出さないこと、人との距離は1m開けること、いろいろな対処法が言われた子どもは、ルールを守ることに専念しました。特に、昼ご飯はけっして声を出さないこと、他のクラスの人との接触はできる限りやめることは、辛いことです。声のない昼の教室は心が閉ざされているように見え、音楽会や宿泊学習の中止も同様でした。人というのは、人との関係において人間らしくなるものです。ましてや子どもは、体がぶつかるほど密接な関係を結んで、お互いが成長します。それがかなり制限されることになり、悔しさを心に収めてきました。そして、1年間やるべきことをやり、代わりにできることを生み出し、輝く時を見せてくれました。

先日、音楽演奏会を行いました。「星空の音楽会」をした1年生は、夕方から夜、真夜中、夜明けまでの星空を想像して音を作りました。歌を歌う喜びを味わえないまま終わる1年ですが、その招待状の「ここを聞いてください」という一人ひとりのメッセージから、1年間の確かな歩みが見え、当日の演奏会では音楽への情熱を感じました。

☆ほし空の音楽はだんだん大きくなるのがとくちょうです。

時の変化に合わせて曲を作った想像力と考えぬいてやり切った思いが伝わってきます。演奏会では自信がみなぎり、仲間とやり遂げた喜びがありました。

☆(タヤけ小やけのタヤけ場面の演奏で)タヤけを見るようにきいてください。

子どもは夕焼けを繰り返し見て、情景を思い浮かべて考えたのでしょうか。演奏会では子どもと指導者と観客が夕焼けを心で見っていました。

今年1年、子どもはやりたいことをやり切る学びの姿が見て取れました。特に、6年生はなぜ卒業する年にと、愚痴を言わず、嘆きも見せず、いろいろ考えてよく踏ん張ってきた1年間でした。6年生が下級生たちの教室に花ことばを書いてくれています。

いちご 花ことば「尊敬と愛情」

みなさんは「いちご」を知っていますね。

いちごが好きな人は、多いと思います。家族も友人も大切に敬い、家族からもらっている愛情も大切にしていってください。

これからも家族も友人も自分を支えてくれる人になると思います。

6年生は、「家族を敬い家族から支えられてきました。学校でもお互いが敬い、支えられてきて、今があると思いました。」と教えてくれました。

今の日常はもうしばらく続き、心配や不便はありますが、必ず笑顔の 때가やってきます。歌を歌い、語り合える日がきっときます。私たち大人が自分だけのためではなく、人を敬う品格をもって生きることが、子どもを情熱の人にするのだらうと思います。